

【活動報告】ウクライナ避難民支援

2022年5月9日(月) ～ 2022年5月15日(日)

【寄付金使用状況】

寄付総額: 75,944,626 円 (2022年5月11日時点)

送金総額: 3000万円 (988,265.09 zł (ズウォティ))

寄付金使用総額: 474,440.13 zł (約1,376万円)

(5月9日(月)～5月15日(日)の期間中の使用額: 69,828.07 zł (約203万円))

【活動内容】

①クラクフ市内シェルターへの支援物資提供

引き続き、クラクフ中央駅簡易避難所ボランティアスタッフと連携し、必要物資の購入。
クラクフ中央駅簡易避難所及び、隣接するカリタス運営支援所へと物資の提供を実施。



これまで簡易避難所内に掃除機がなかったため、現地ボランティアの要望を受けて掃除機を購入。
こちらの施設は駅構内地下階にあり換気も悪いため、施設内の衛生環境の改善についても課題が浮き彫りとなった。

また、連日ボランティアにあたっている現地スタッフ用のアパートホテルを手配。
週明けより利用開始見込み。

②レストランプロジェクト

各店舗とも、連日クーポン利用者で賑わい、週間で200～400食近くを提供している。

写真: BENTO クーポン利用者(左)、Szalona AzziP ドライバーが避難所へ食事を配達する様子(右)



現在の避難所への食事の配達は、毎日

朝: 40食 (クラクフ中央駅構内簡易避難所)

昼: 40食 (クラクフ中央駅構内簡易避難所)

夕: 100食 (クラクフ中央駅外 カリタス運営支援所)

となっており、現地スタッフの要望を受け、毎食パスタ・米料理等、内容にバリエーションをつけて提供することとなった。

③福田会ポーランド支部スタッフによるミーティング



これまでの活動の報告・反省と、今後の方針についての相談。

【現地の動向】

- ・ポーランドに流入したウクライナ避難民の数は約338万人とされており、ポーランドからウクライナに戻った人の数は27万5千人とされている。(5月13日時点)
- ・現地ボランティアによると、ロシアに送られていた一部のウクライナ人がポーランド国内に入国しているため、宿泊施設の確保が急務となっている。

マーケットの準備が始まったクラクフ中央広場(5月14日)



ポーランドでは、3月下旬から新型コロナウイルス感染症対策が緩和され、入国の際に一切の手続きなく入国出来るようになった。

また、5月16日より「感染事態」が解除され、「感染脅威事態」に変更となる。

徐々に観光客の数が戻りつつあるポーランドだが、これによって更なる観光客増加が見込まれる。

すでに都市部の宿泊施設はウクライナ避難民で逼迫しており、宿泊代の値上がりが著しくなっている。